

◆テストについて

Qなぜ、テストをするのか？

- 教師の振り返り（指導の見直し）
- 児童がどこまで理解できているのかを知る（出来ることと出来ないこと）
- 児童をやる気にさせる

Q 英語のテストは何を測っているのか？

→コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは？ **言語的知識**（文法、単語、音韻）と**活用する力**（聞く、読む、話す、書く）

Ex. Is this your dog? → Yes だけが答えではない。



→ かわいい。



→ うちの庭に穴を掘っている。
どうしてくれるの？

場面に応じて、言葉の意味する気持ちを読み取ることが大切。

Q どんなテストが良いテストと言えるのか。

→実用性の範囲内で、できるだけ妥当性と信頼性を上げ、望ましい波及効果を生み出すテスト！

- ・妥当性：そのテストが測定したいものを本当に測定しているかの度合い（授業で教えた内容）
- ・信頼性：テストが受験者の能力をどのくらい安定して一貫して図っているかの度合い（何度しても同じ結果が出る。）
- ・実用性：テスト実施にかかるコストが現実的であるかどうかの度合い（テストを作る時間や人材など）

テスト作りで大切なこと（授業づくり）

- ・単元に入る前にテストをつくる。（その単元で身に付けさせる力は何かをおさえる。）
- ・授業の設計図をつくる。

（テストテストの内容に応じて、何に重点をおいて教えるのか、どんな手順で教えるのかなど。）



ティーチングポイントとテストポイントを一致させる。

（その単元で身に付けさせたい力と授業内容を一致させる）

◆今、日本の英語教育が求めているもの

- ①これまで外国語活動で行ってきたこと含めた基礎的・基本的な知識・技能
- ②それらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- ③コミュニケーション能力の育成について改善を加速化すること

◆英語教師が大切にしていきたいこと

- ①どんどんしゃべろうとする意識を育てる（コミュニケーション能力）
- ②まちがうことは、新しいことを学ぶプロセスであること。



「出川イングリッシュ」

（教師が間違いをおそれて英語を使わないのはだめ。単語だけでいいからとにかく授業中に英語を使う。その姿が、児童に「どんどん英語を使ってしゃべろうとする力」「間違いをおそれない力」を備えさせる。

